

都市デザインワークスが描く 「せんだいセントラルパーク」

特定非営利活動法人 都市デザインワークス
代表理事 柊原 進



せんだいセントラルパークの調査対象エリア

せんだいセントラルパークは、仙台都心に位置する大橋を中心とした広瀬川流域一帯を都市と自然が融合する豊かな公園空間と位置づけ、市民や観光客が楽しめる大橋を中心とした広瀬川流域一帯を都市と自然が融合する豊かな公園空間と位置づけ、市民や観光

市民や観光客が集い楽しむ、仙台でしが味わえないハレの場

都市デザインワークス（以降、「UDW」と省略）は、建築や都市デザインを専門とする研究者や実務者が中心となつて二〇〇二年に設立したNPO法人です。仙台を拠点として、まづくりに関する調査研究、政策提言、市民を対象としたセミナーやフォーラムを企画実施しています。

今年度、UDWでは、中心メンバーク二〇〇〇年から提唱してきた「せんだいセントラルパーク構想」に取り組んできました。今回は、その概要をご紹介します。



高橋上流の崖面(崖の下には化石が眠る)



大坂から大橋・青葉山を望む(街から城へ向かう輪線)

客が集い楽しむ場を一体的に創り出すという構想です。なげ、このエリアが、仙台のセントラルパークかといえば、仙台城のお跡元という歴史的な佇まいを備えている。都心にありながら広瀬川や青葉山な

どの野趣に富む自然が残り、それらが杜の都を代表する雄大な景観を創り出している。
* 西公園、定禅寺通、美術館、国際センター、せんだいメディアテークなど多様な市民活動の場が集積している。
* 仙台市、宮城県、東北大学が広範な土地を所有・管理している。
* 仙台市は、地下鉄東西線や緑の回廊づくりを中心に、仙台城跡整備、西公園再整備などを計画中で、東北大学でも川内キャンパス整備を進めるなど、今後様々な事業が予定される。
* 仙台のしかもここにしかない魅力や個性を備えている「仙台の顔」だからです。

「せんだいセントラルパーク」を「日本語に訳すと「中央公園」
私たちが考えるのは、行政が計画する制度としての公園、つまり人口から公園面積を割り出し、適切な誘致を図る検討し都市計画に位置づけ、全国一律の設計基準によって芝生や樹木が植えられ、遊具やトイレなどが設けられるといういわゆる公園用地の中だけで完結する従来型の公園ではなく、多様な市民活動を受け入れ、公園周辺の商業施設や文化施設、自然環境などと機能融合した新しいタイプの公園パークです。

西公園や青葉山公園、仙台城跡などの仙台市が所有する公園、宮城県が管理する広瀬川、東北大学のキャンパスなどの公的なオープンスペースが、地権者の計画だけで個別バラバラに整備されるのは、市民や観光客にとって使いにくく、楽しみにくいものになってしまう可能性があります。これからの時代に求められる都市観光という視点からも大きな損失です。

2

土地所有はそのままに、市民ニーズを反映した将来像を共有し、相互連携を強め、デザイン協調による公園づくりを進めることが望まれます。同時に隣接する民地にも協力を求め、青葉山や広瀬川への眺望を大切にしたい。レストランやカフェ、住宅などが、互いに眺望を阻害しないように協調しながら建設されることも大切。

それら多様な機能の複合により、多様な人が集まり、住み、楽しむことによる相乗効果によって魅力が倍増することです。これが実現すれば、ここでしか味わうことができない体験をする一例です。

●本丸に登って政宗が眺めていた仙台北城下を想像したり、電ノ口渓谷や広瀬川に眠る化石を採検しながら、太古の歴史に想いをほそませる。

●散歩の途中で、広瀬川や青葉山を眺めながらカフェでお茶を飲み、季節のお菓子をつまむ。

●夕暮れ時、遊歩道にはポツポツと灯が連なり、ライトアップされた大橋とともに幻想的な夜景を創り出す。橋の袂のレストランでは、その夜景を眺めながら食事とお酒を楽しむ。

●仙台のシンボル空間を象徴するレセプションホールとガーデンが開放され、満開の桜の下、結婚式が行われ、カップルは市民みんなに祝福される。

●地下鉄を降りるとインフォメーションセンターがあり、施設やイベントガイドツアーなどの案内があり、やりたいこと、行きたい場所、知らなかった魅力を発見できる。

●自転車、電気バス、馬車、人力車、地下鉄などいろいろな乗り物を共通チケットで利用し、公園内を気軽に自由に楽しく移動する。各種施設も

共通チケットで手軽に楽しむ。何も持たなくて、スポーツの道具や羊羹の道具も借りて家族や仲間と気軽に楽しむ。また、工具の使い方や新しい遊びを教えてください。プレイヤーがいる。

●広瀬川沿いの住宅では、みんなが広瀬川や青葉山の眺めを楽しみながら暮らすか？こんな素敵な生活を楽しみたいと思いませんか？

せんだいセントラルパークをみんなに知ってもらおう

今年度は、せんだいセントラルパーク構想の内容を具体的に深め、その魅力を知ってもらうことを目標に取り組んできました。

■現地調査

カメラと地図を持って、良好な景観はどこか、その景観をつくる要素は何かを現地調査しました。広瀬川をゴムボートで下り、いつもと違う視点で大橋や河畔の緑を見ることもありました。

■市民団体や行政等へのヒアリング
このエリアで活動している市民団体

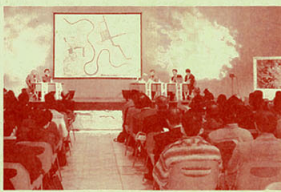


佐々木さん(ゆうの会)へのヒアリング

をはじめ、仙台市関係課や商工会議所などに、現地調査で得られた魅力や構想のたたき台を説明し、様々な意見を頂きました。これにより、このエリアに対する様々な想いを集めて提案内容に深みを持たせると同時に、せんだいセントラルパークのつながりの輪を広げています。「私もこの場所には想いを抱いている」という方は、「一報下

■フォーラムの開催

せんだいセントラルパークについて市民と共に考える場として、「百万人のせんだいセントラルパークフォーラム」を開催しました。パネリストには、景観の専門家、仙台市の担当職員、市民活動を行っている方をお招きし、様々な視点から有意義な意見・提案をいただきました。当日は、約二〇〇名の方に参加頂きました。



フォーラム(1月30日)の風景

■情報発信

現地調査やヒアリングで得られた情報をホームページで公開してきました。また、このエリアの魅力と提案内容を

紹介するパンフレット「せんだいセントラルパークガイド」を随分程度のペースで発行しています。創刊号は、景観をテーマに取り上げフォーラムにて配付しました。

今後に向けて

少しずつですが、多くの方にせんだいセントラルパークについて知ってもらうことができ、現地調査やヒアリングなどを通して、輪も広がってきています。

今後は、「ガイド」の発行やホームページの公開などPRを進めると同時に、このエリアの魅力を感じてもらおうとガイドツアーも企画・実施したいと考えています。例えば、化石採検ツアー、川こぎツアーなどを想定しています。また、これまでの調査や検討作業などをふまえて、市民の方からパブリックコメントを募集したいと考えています。そして、頂いた意見を反映した市民提案という形で仙台市をはじめ、各方面に提案していく予定です。

特定非営利活動法人 都市デザインワークス

〒984-0065 仙台市若林区土樋13-3
TEL/FAX : 022-264-2405
e-mail : info@udworks.net
URL : http://www.udworks.net

せんだいセントラルパークサポーター
■年会費：3000円